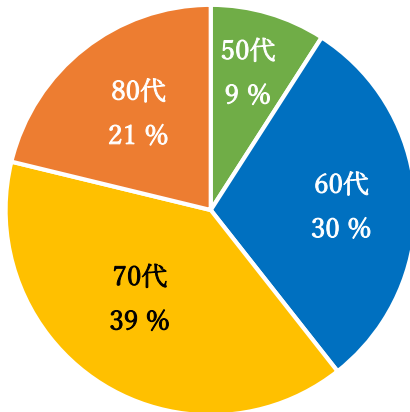


## 占冠村防災訓練に関するアンケート集計結果

令和4年9月30日実施

避難訓練参加者 57名

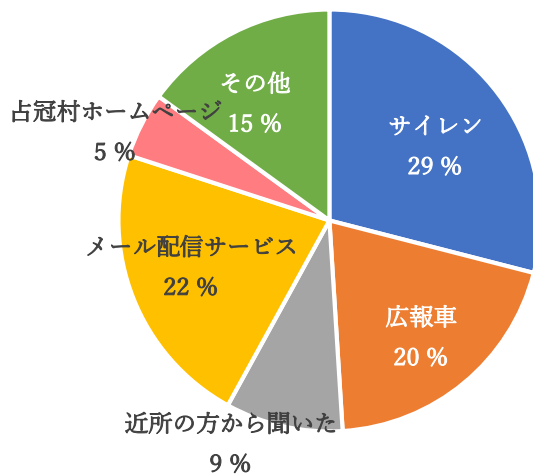
アンケート回収 33名



Q1 年齢を教えてください。

回答	回答数	割合
40代以下の回答者はいませんでした		
50代	3	9
60代	10	30
70代	13	39
80代	7	21

70代の方からの回答が39%と最も多く、次いで60代30%、80代21%、50代9%となっており、40代以下の方からの回答は0%でした。(40代以下の訓練参加者はいましたが少数でした)



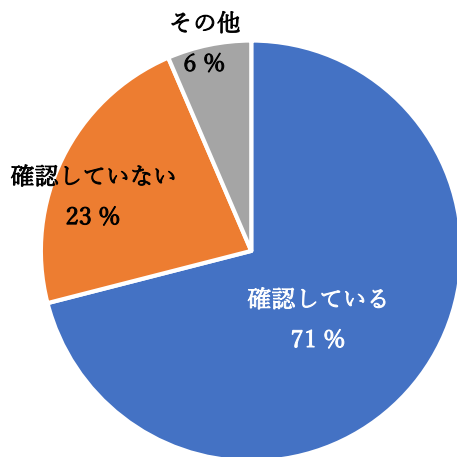
Q2 避難訓練の開始は、どのように知りましたか

回答	回答数	割合
ア. サイレン	12	29
イ. 広報車	8	20
ウ. 近所の方から聞いた	4	9
エ. 占冠村メール配信サービス	9	22
オ. 村ホームページ	2	5
カ. その他	6	15

【その他の回答】

- 家族から
- 災害対策本部から直接電話を受けた
- 回覧板
- 村の広報

サイレンが最も多く29%。次いで占冠村メール配信サービス22%。広報車が前回6%だったのに対し、今回は20%となっており、サイレンや広報車の音声の皆様にはしっかり届いているということがわかります。また、今後も占冠村メール配信サービスの普及を進めていきます。



Q3 あなたは全世帯に配布されている  
占冠村防災ハンドブック・洪水ハザード  
マップの内容を確認していますか。

回 答	回答数	割 合
ア. 内容を 確認している	22	71
イ. 内容を 確認していない	7	23
ウ. その他	2	6

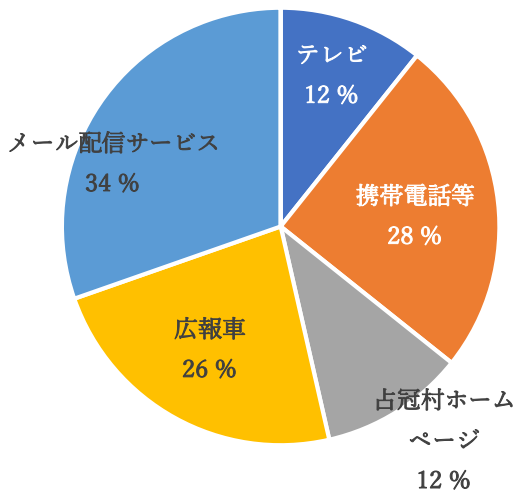
【その他の回答】

- 最近見ていないので忘れている
- 一部目を通した

「確認している」と回答された方が71%となり、多くの皆さんが占冠村防災ハンドブックや洪水ハザードマップをご承知であるということが分かりました。

「確認してない」と回答された方も23%おり、一層の周知の必要性が明らかになりました。

Q4 村から災害等の情報をどのような方法で入手したいですか。



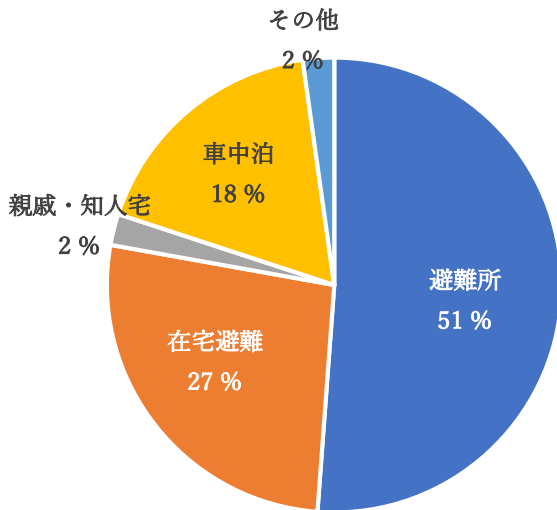
回 答	回答数	割 合
ア. テレビ	6	12
イ. 携帯電話・電話・ ファックス	14	28
ウ. 村ホームページ	6	12
エ. 広報車	13	26
オ. 占冠村メール 配信サービス	17	34
カ. その他	0	0

※複数回答のため、相和は100%を超えます

占冠村メール配信サービスと回答した方の割合が34%、次いで携帯電話・電話・ファックスと回答した方の割合が28%、広報車が26%でした。

占冠村メール配信サービス又は、携帯電話・電話・ファックスと回答した方の内の約半数の方が、占冠村メール配信サービスと携帯電話・電話・ファックスのどちらも選択しており、テレビや村ホームページ等の不特定多数を対象とした情報よりも、個人に送られる音声又は文字で防災情報を確認したいという方が多いことが予測されます。

**Q5 水害が発生したとき、どこに避難したいと考えていますか。**



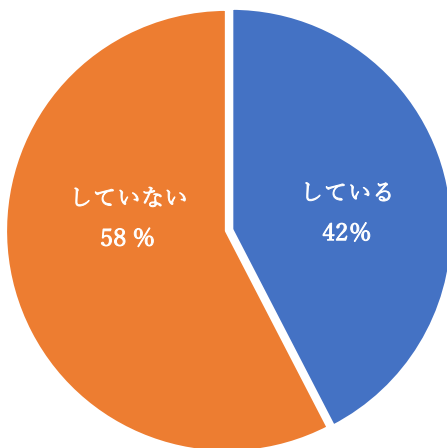
回 答	回答数	割 合
ア. 避難所	23	51
イ. 在宅避難 (自宅が安全である、 または、自宅の2階 に避難する)	12	27
ウ. 親戚や知り合いの家	1	2
エ. 車中泊(避難所等の 駐車場)	8	18
オ. その他	1	2

【その他の回答】

○程度による

避難所と回答した方が51%と最も多く、回答者の約半数の方が、水害が発生したとき、避難所に避難したいと考えていることがわかりました。次いで、在宅避難が27%、車中泊が18%でした。

**Q6 あなたは食料の備蓄やいつでも避難できる準備をしていますか。**



回 答	回答数	割 合
ア. している	14	42
イ. していない	19	58

「していない」と答えた方が58%と、半数以上の方が食料の備蓄やいつでも避難できる準備をされていないことがわかりました。前回訓練では、「している」と回答した方が多い結果でしたが、分母の数（回答者数）の違いによるものと思われます。いずれにしても、約半数の方が「していない」ということになりますので、今一度、家庭での備蓄や、平時からの避難準備の必要性について、周知してきたいと思えます。

**Q7 避難する際の心配事等があれば記入してください。**

- 夜間など視界が良くないときの避難時にリスクを発見し回避できるかどうか心配。
- 避難所での水、非常電源、暖房等の備えが足りているかどうか。
- 近所も含め高齢世帯となり、自力で避難も難しくなり、日も近くなりその時が心配になります。
- 情報いち早くお願いします。
- 避難開始の連絡が良くわかるのかどうか（今回は前もって）聞いていたのでわかったのですが。
- ペット（犬）がいるので災害が長引くと散歩など心配。
- コロナウイルスの罹患。
- 夜間の避難路、特に神社下まで浸水の不安。
- 介助を受けなければならないので心配です。
- 新型コロナウイルスの感染が心配。
- アレルギー。（ハウスダスト、動物の毛など）
- 薬を忘れないように。
- ヒザと腰が悪いので床に直接長く座ってはいられない。腰掛けが欲しいです。
- トイレが一番心配です。

**Q8 避難訓練や村の防災全般についてご意見等があれば記入してください。**

- 村の広報しむかっぷで防災特集をしてはどうか？過去の災害時の画像と、今後同程度の降雨があったときにどのくらいの浸水があるかシミュレーションして比較するなど。
- 中央までいかれないので、防災のお話をしてほしいです。
- コロナでしかたないんでしょうがマスクをして話すときの内容がさっぱりわかりませんでした。
- 避難者への途中経過や今行っている作業などの説明が無く、ただイスに座っていただけの気がした。
- 今回の避難訓練は避難行動だけであったので住民は比較的スムーズであったと感じるが、実際の災害時には近所の安否確認や避難用品をもった避難行動はテキパキと出来るか、スムーズにできるか不安。
- 避難が実際に必要となったとき訓練と同じように短時間に行動できるか不安。
- 防災訓練に携わっていましたが、役場、消防の皆さん大変ご苦労さまでした。
- 訓練に参加しまして、会場でまっている時間が20分ぐらいありました。そのときに本日の訓練の流れの説明があってもいいかなと思った。
- 団長の挨拶のときマスクをつけていたせいか聞き取れなかった。
- 避難して体育館の椅子に座ってから避難完了までの約40分間避難者に対して経過や今後のスケジュール等全くなかった。まわりの避難者も同様の不満を言っていました。役場職員と消防関係者の訓練か？との声もありました。
- 名前確認等の受付の時に何かお手伝いできるかなど聞いてチェックいれておくとか、できる人には識別できるものを身に付けてもらうとか。

- 避難している住民は、本部の動きがわかりません。アナウンスして、避難者にも訓練の動きを理解してもらった方が一体感が生れるのでは。
- 訓練に参加していない、介護や手助けの必要な人の避難訓練が必要なのでは…。
- 中学校に避難してから総務課長の発言までの30分間、何の説明もなく、結果的にただ集まっただけ。誰のための何のための訓練だったのか。久しぶりの参加だったが、今後訓練には参加しない。
- 村長と団長のあいさつがあったが、マスクをしているため聞き取れない。参加者とは十分な距離があり、マスクをはずしてもよいと思う。
- 冬が長い地域なので、もし暴風雪による停電が何日も続いたらと思うと暖房に灯油ストーブなので、年をとって、寒さがこたえる様になるとすごく心配です。何年か前に占冠村でも一度ありましたが、あの様なことが何日も続いたらどうして過ごしたらよいのかと考えてしまいます。
- 職員のゼッケンは課をもじったもので避難に必要なのか。「救護班」「誘導係」とか誰に相談するか具体的なものが良い。
- ボードに何か書いていたようだが進行状況を参加者に説明しては。
- 参加賞的なペットボトルの配布必要なし。
- 賞味期限の切れる食料の配布は考えられない。食べられるが行政のやることではない。